

Chiba Rosai News

千葉ろうさいニュース

Vol.27

令和2年10月1日



手術支援ロボット ダヴィンチ

目次

②・③

手術支援ロボット ダヴィンチ
泌尿器科副部長 柳澤 充



④

アレルギー・膠原病内科のご案内
アレルギー・膠原病内科部長 玉地 智宏

⑤

新型コロナウイルス感染症に思う
呼吸器内科部長 弥富 真理

⑥

当院の増改築工事について

⑦

連携登録医のご紹介
倉持泌尿器科クリニック 倉持 宏明

⑧

当院の理念

発行責任者／岡本美孝

発行／千葉労災病院

<http://www.chibah.johas.go.jp>

〒290-0003 千葉県市原市辰巳台東2丁目16番地

TEL.0436-74-1111 FAX.0436-74-1151

手術支援ロボット ダヴィンチ



泌尿器科副部長 やなぎ さわ みつる
柳 澤 充

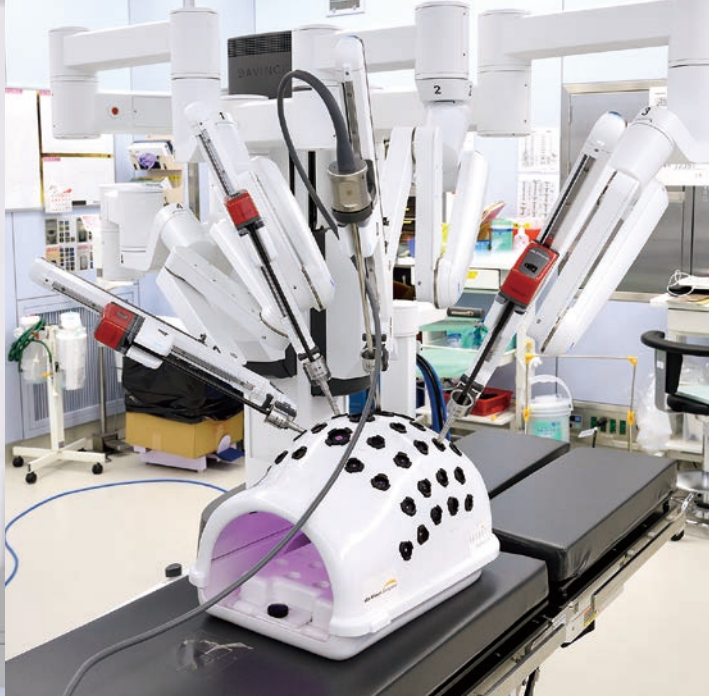
日本では前立腺全摘でロボット支援下手術が保険収載されて以降ロボット手術を導入する病院・適応疾患が急速に増えております。当院でも高度で安全な医療の提供の理念のもとロボット支援下手術を開始いたしました。

まずは皆様にロボット支援下手術がどういうものかについてご紹介したいと思います。

ロボット手術といってもロボットが自動的に手術するわけではなく腹腔鏡手術をロボットで行うものですが、そのロボットを操作するのはあくまで人間です。

結果として今までよりも安全で正確な手術が、患者さんの体への負担も少なく行える、ということになります。理屈だけでなく実際に手術を行い、出血が少なく複雑な縫合も可能で患者さんの疼痛が少ないことを実感できております。

現在はまだ前立腺癌に対する前立腺全摘のみロボット支援下で行っておりますが、今後保険適応の通っているロボット支援下手術も導入することを考えております。これからもより良い医療を地域の皆様に提供してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



これまでの腹腔鏡手術と異なる点

1. 3Dカメラがついているので患者さんの体内を立体で見ることができる
⇒ いままでよりずっと良く見える
2. 鉗子の先に関節があり、人間の手指のように自由が利く
⇒ いままでより繊細で複雑な操作が可能
3. 鉗子操作をロボット支援下で行うことで傷口にかかる負担が少ない
⇒ 体への負担が少なく、術後疼痛が少ない
4. 術者はイスに座ってロボットを操作することで手術を行う
⇒ 術者が無理な体勢を強いられず、術者の負担も少ない

アレルギー・ 膠原病内科のご案内



アレルギー・膠原病内科部長 ^{たま}玉 ^ち地 ^{とも}智 ^{ひろ}宏

当科は2018年に当院に新設され2名体制で診療しております。

成人の「アレルギー」は気管支喘息（内科・呼吸器内科・アレルギー内科）、アレルギー性鼻炎（耳鼻咽喉科）、アレルギー性結膜炎（眼科）、アトピー性皮膚炎・薬疹・金属アレルギー（皮膚科）などが代表的な疾患で、日本では基本的には臓器別に診療が行われています。

アレルギー内科に特徴的な診療の一つとしてアナフィラキシーの原因精査があげられます。「アナフィラキシー」は急速に出現する重篤なアレルギーで、全身に紅斑や膨疹が広がることが多く、粘膜浮腫・呼吸困難・血圧低下などをきたすこともあります。原因として蜂刺症やアニサキス症の場合は比較的診断が容易ですが、薬剤については血液検査が確立しておらず、食物についても血液検査は偽陽性・偽陰性があり、しばしば診断困難です。そのため詳細な問診を中心とした診療になります。「食物アレルギー」は「仮性アレルギー」である可能性も含め鑑別を行います（図1）。対策は原因物質を避けることが基本です。近年小児で行われることもある経口免疫療法は、成人においては確立しておらず実施しておりません。

免疫が自己を誤って攻撃する状態を「自己免疫疾患」と呼び、その中でも、関節・筋肉・血管などを攻撃する病気を「膠原病」と呼びます。なじみのない病名が並びますが（図2A）、最も有名で多い疾患は「関節リウマチ」です。関節リウマチは、進行すると重度の関節障害を引き起こしますが、近年普及したメトトレキサートを中心とした治療により6-7割の患者さんが軽快し、難治例でも分子標的薬を使用することで9割の症例で病勢コントロールが可能な時代となりました。長期使用による副作用が問題となるステロイド薬や鎮痛剤の使用をできるだけ減らす方針です（図2B）。

膠原病は難病の印象を持たれますが、必ずしもそうではありません。膠原病では、臓器ごとの障害の程度を評価した上で、ステロイド薬や免疫抑制剤などによる治療を重症例では入院治療を必要とする一方、治療は不要で体質としてつきあっていくという場合もあります。ステロイド薬を長期に必要とする場合は、副作用の管理も大切となります。

診療に時間を要するため、外来診療は完全予約制となっておりますので、事前に予約をお願いします。なお化学物質過敏症、線維筋痛症の診療は行っておりません。

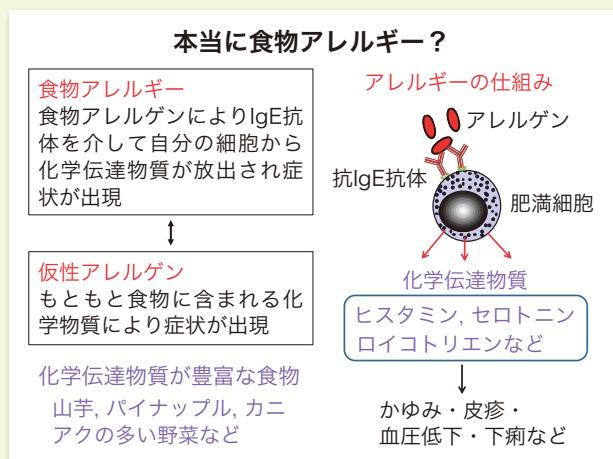


図1

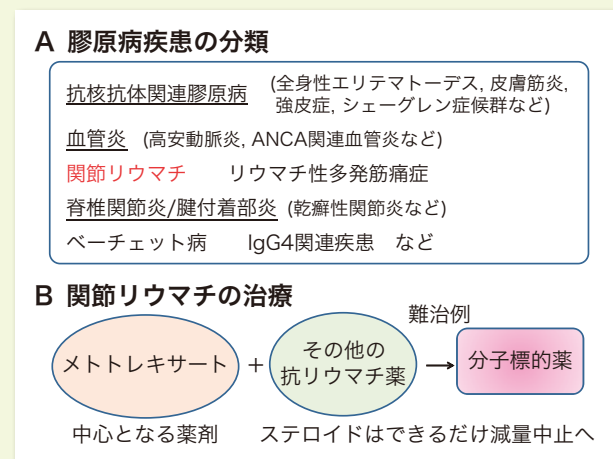


図2

新型コロナウイルス感染症に思う

呼吸器内科部長 弥 富 真 理

2020年正月を迎えた頃、このような年になることを予想していた人は微塵もいなかったでしょう。しかしこの時から脅威はひたひたと忍び寄っていたことになります。1月下旬には初の国内感染者が確認され、最もそれを印象付けたのは2月上旬のクルーズ船内での多数の感染者の発症です。当院でも2月中旬からクルーズ船からの患者さんの受け入れを開始し、これまで通常の医療を行いながら感染症の患者さんの治療を継続しています。

当初は、「院内に感染患者さんが入院している」というだけで、早期退院を希望されたり、「コロナが怖くて外に一步も出られない」という患者さんがいました。

この感染症が当初未知に近いウイルスだったこともあって、感染された患者さんはもとよりそのご家族、活動自粛で仕事、介護、教育などの権利を奪われた人、公共交通、物流、インフラ、飲食業、接客業など偏見や差別に耐えつつ社会を支えている方すべての人の生活に影響を与えたことになりましたが、それは私たち医療従事者にも同様でした。

現在疫学情報が瞬時に共有され 病態が明らかになりつつある今、正しい知識を持つこ

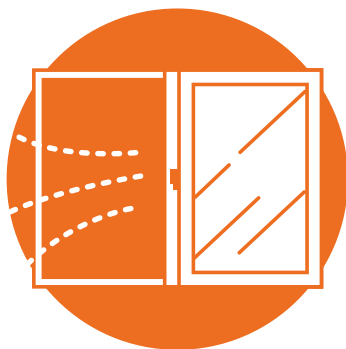
とが必要です。感染防止に必要なことは以下の3つ全てで、目、口、鼻の粘膜へのウイルス付着を避けることです。

- ① 3密（換気の悪い密閉空間、多数が集まる密集場所、間近で会話や発声をする密接場面）は一つでも避ける
- ② 2m以内で会話をする時はマスクを着ける
- ③ 手指を清潔に保つ

3密の環境では一人の感染者が10人に移してしまいます。

最も人にうつしやすい時期（ウイルス排出量のピーク）は、症状が出る2日前から前日にかけてで感染に気付かないまま出歩き、感染を広げていることもあり得ることになります。人にうつす期間は、発症2日前から発症後7～10日程度であることが分かっています。

これからは、新型コロナと共存していくことになります。これは、有効な治療法やワクチンが開発されるまで続くことになり、個々がリスクを避け、感染拡大を阻止しながら普通の生活をする努力が喫緊の課題と言えるでしょう。



～ 当院の増改築工事について ～

当院では、平成25年10月に免震構造の新入院棟が完成し、平成26年8月には外来棟の改修工事を終え、手術室を8室から10室に増設し、ICU 8床の稼働、さらに最新の医療機器を数多く取りそろえるなど、地域の中核病院として、高度で専門的な医療を提供してきました。

今後も高度急性期・急性期病院として、地域医療全体への貢献をさらに推進し、安全で質の高い医療を提供していくために、現在増改築工事を行っています。

工事の内容としては、

- ①中庭に講演会などを行う多目的ホールを含めた2階建の建物を新設
- ②1階売店のそばに健康診断部門、歯科口腔外科、精神科等の外来、2階にリハビリ部門を配置した2階建の建物を新設

③新入院棟2階にあるリハビリ部門を、より面積を広く取ったICU、全身管理が必要な患者さんを収容するハイケアユニット（HCU）に改修等の病院機能向上を目的とした工事を計画しております。

さらに、利便性の向上を図るため、正面玄関周辺の待合スペースの拡張、患者相談部門の集約化、医療ニーズの高い緩和ケア病棟の設置についても計画しています。

なお、工事に伴う休診は特にありません。診療を止めることなく、安全に配慮しながら工事を進めてまいります。

工期は令和4年度までと長期の工事となります。工事期間中、騒音や大型車両の通行等、皆様には大変ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

●増改築工事完成予想図



●ICU(リハビリテーション室を改修)



●多目的棟外観（中庭から）

倉持泌尿器科 クリニック

くらもち ひろ あき
院長 倉持 宏明 先生



菊間で開業して15年余りとなりました。普段自院で外来診療を行いながら、木曜午後は、千葉ろうさい病院で勤務しております。新型コロナウイルスへの対応に伴う様々な制約や緊張感のなか、澆漑と診療を続けていらっしゃる病院職員の皆様には、本当に頭の下がる思いであります。

手術用ロボット「ダヴィンチ」が、ついに千葉ろうさい病院に導入されます。我が国では、前立腺癌に対する前立腺全摘出術が、この「ダヴィンチ」を使った手術として、最初に健保適用となりました。次いで腎癌に対する腎部分切除術にも適用されており、泌尿器科医には非常に親近感のある医療機器です。これから更に適用手術が増え、将来的には外科手術の核心となってゆくことが予想される機器であり、千葉ろうさい病院の今後がますます楽し

みで、大きな期待、頼もしさを感じております。

医学の進歩の速さを前にしたとき、自身の微力さを痛感いたしますが、共に地域医療を支えてゆくため、私も自分にできることを精一杯頑張ります！

倉持泌尿器科クリニック

診療案内

〒290-0007 市原市菊間249-1

電話番号 0436-40-8571

診療科目 泌尿器科

診療受付時間		月	火	水	木	金	土	日・祝
午前	9:00~12:00	○	○	○	○	休	○	休
午後	15:00~18:00	○	○	○	休	○	休	休

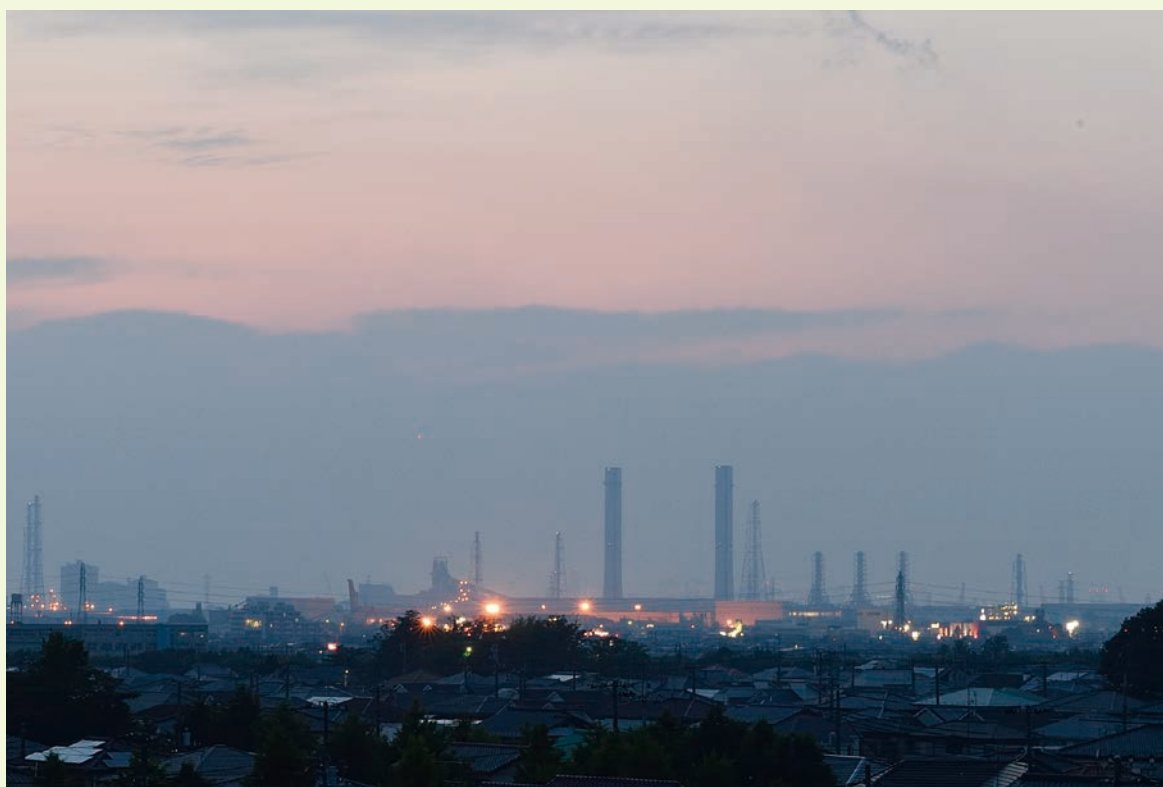
千葉ろうさい病院 理念

基本理念

私たちは、地域の人々、勤労者の方々に高度で安全な医療を提供します。

基本方針

1. 患者の権利を尊重し、安全で質の高い医療を提供します。
2. 急性期医療・予防医療を担い、基幹病院として地域医療に貢献します。
3. 働く人々の健康を守り、社会復帰を支援します。
4. 豊かな人間性と高い技能を備えた医療人の育成をはかります。
5. 明るく向上心に満ちた職場をつくれます。



病院近くの若宮団地より市原の工業地帯を臨む

編集 後記

だんだんと涼しくなり、過ごしやすい季節になってきました。

秋はスポーツ・芸術・食・行楽など色々楽しみなことがあると思います。今年の春・夏は家で過ごすことが多かったので、秋は体を動かし、少しでも運動不足を解消できればと思っています。

感染拡大防止の観点から新しい日常を模索しながらではありますが、何か一つでも自分の楽しみを見つけ、気持ちよく穏やかな生活を送ることができればと思っています。

植田 夏純（総務課）